

大きな災害が、明日来るかもしれません。そのために、どうしますか？

(2016年5月に発行された新しい「防災マップ」保存版より)



●大きな地震のとき

地震が起きた時

ガスを使っていたら、すぐに火を消します。そして、テーブルの下に隠れ、テーブルの脚をしっかりと持ちましょう。

地震が起きたあと

(1) 家の中でも靴をはきます：部屋の中に、危険な物(われたお皿やガラスなど)が散らかっています。まず靴をはきましょう。そしていつでも外に出られるよう、ドアや窓を開けたままにします。ガスの元栓を閉めます。



電気のブレーカーも落とします。

(2) 家の前に大きな黄色い布を出します：家族みんなが大丈夫かどうかを確認めます。みんなが大丈夫だったら、家の前に黄色い布(服、タオル、ハンカチなど)を出します。これは、「私たちは大丈夫です」と周りの人に知らせるためです。



(3) 近所の人が大丈夫かどうかを確認めます：近所(となりの家や、向かい側の家)に住んでいる人が大丈夫かどうかを確認めます。火事が起きたり、家が壊れたりして、助けをもらいたいときは119番に電話します。消防車や救急車がすぐに来ないかもしれないので、できるだけ近所の人たちと一っしょに火を消したり、人を助けたりしてください。

(4) 家が大丈夫だったら家にいます：家が壊れたり、自分の家も火事になりそうだったら、避難所(近くの小学校)に行ってください。ただし、北小学校区の人にはメイプルホールに、萱野小学校区の人には第二中学校へ行ってください。

地震が起きる前に

地震のあと3日は交通がとまり、電気、ガス、水、食べ物が届かないかもしれません。

(1) いつも3日分の飲み水(1人3リットル/日)と食べ物(料理せずに食べることができるレトルト食品、缶詰、ビン詰)を準備しておきましょう。

(2) 「非常用持ち出し袋」をすぐに取りだせる場所に用意しておきます。袋には、少しの水と軽い食品、電池式ラジオ、懐中電灯、電池、ホイッスル(笛)、ティッシュ、おむつや乳児用食品、パスポートなどを入れておきます。必要なら、薬、「お薬手帳」、予備のめがねやコンタクトレンズ用品、生理用品も入れておきます。リュックに入れておくと、避難するときにいちばん便利です。



(3) 背の高い家具は、寝る場所やいつも座る場所から離しておきましょう。

(4) 大きな家具は金具や決まった用具で動かないようにします。揺れたり倒れたりしたときに家具の扉が開かないように、金具をつけましょう。

(5) あなたの家の耐震診断を無料でうけることができます。市が決めた会社に電話してください。

●大雨や台風のとき

箕面市の北側には山がたくさんあります。雨がたくさん降ると、山の地面がやわらかくなって、土石流(山からたくさんの土や砂が流れてくる)、がけ崩れ(山の斜面が急に崩れて落ちる)、地すべり(山の地面が動き出す)などの災害が起こりやすくなります。新しい「防災マップ」には、それぞれの災害が起こりやすい地域(「危険エリア」)が書いてあります。どれくらい起こりやすいかは赤や黄の色で分かります。新しい「防災マップ」を見て、次のことを確かめてください。

(1) 自分の家が「危険エリア」に入っていないか

(2) 避難所(災害が起きたときに逃げるところ)の場所やそこへ行くまでの道

●災害の時は箕面市の「緊急情報」を聞いてください

大雨、台風、地震など災害が起きて、避難(安全な場所へ移動する)が必要なとき、箕面市は FM ラジオ「タッキー816」(81.6MHz)、メール、ツイッターなどで知らせます。ラジオは81.6MHzに合わせてください。メールを受け取るためには、<http://anzen.minoh.net/> または右にあるQRコードから登録してください。ツイッターのアカウントは@Minoh\_Anzen です。緊急情報は3つあります。それは、「避難準備(避難の準備をしてください)」、「避難勧告(小学校へ避難してください)」、そして「避難指示(必ずすぐに避難してください)」です。これらは日本語で知らされますが、災害のときすぐに避難できるように、普段からこれらの言葉に注意したり、覚えたりしておいてください。

